

学位論文審査の結果及び最終試験の結果の要旨

学位申請者氏名	内川 竜太郎	
学位論文名	20 歯以上保有している高齢者の要因 (Factors of elderly people with 20 or more teeth)	
論文審査委員	主査：	松本歯科大学 教授 小笠原 正 (印)
	副査：	松本歯科大学 教授 羽鳥 弘毅 (印)
	副査：	松本歯科大学 講師 荒 敏昭 (印)
	副査：	(印)
	副査：	(印)
	副査：	(印)
最終試験	実施年月日	2018 年 12 月 13 日
	試験方法	○口答 ・ 筆答
学位論文の要旨		
<p>【目的】 高齢になっても多くの歯を残し口腔機能を維持できるような歯科治療および歯を残すための歯科予防における指導方針を確立する必要がある。そのためには、まず歯を残すために必要な要因を認識しておかなければならない。そこで、高齢者における 20 歯以上を維持する要因を口腔内の状態、口腔保健行動、Breslow の生活習慣から検索した。</p> <p>【材料と方法】 本研究は 2016 年から 2018 年に松本歯科大学病院口腔診療部に来院された 65 歳以上の 57 名（男性 31 名、女 26 名）を対象に、現在歯数、刺激唾液量 (ml/5min)、唾液緩衝能（4 段階評価）、プラーク・コントロール・レコード (PCR)、プロービングデプス (PD) の平均、歯周検査時出血率 (BI: Bleeding Index)、動揺歯率（検査歯数における動揺歯の比率）を調べた。さらに、Breslow の 7 つの生活習慣（喫煙・運動・飲酒・睡眠時間・体重維持・朝食・間食）とそれらを総合した健康指数 (HPI: Health Practice Index) を算出した。また、口腔衛生習慣としてフッ化物の使用状況における質問を実施した。これらの調査項目を独立変数として、現在歯数 20 歯以上/未満を従属変数としたロジスティック回帰分析を実施した。</p> <p>【結果および考察】 ロジスティック回帰分析の結果は、緩衝能 (OR 0.191 ; 95%CI=0.052-0.701)、動揺歯率 (OR 1.136 ; 95%CI=1.023-1.261)、HPI (OR 0.326 ; 95%CI=0.138-0.767) 及びフッ化物の使用 (OR 0.431 ; 95%CI=0.214-0.869) であり、これらの項目と現在歯数を 20 歯以上有することとの間に有意な関連 ($p < 0.05$) を認めた。本研究より 65 歳以上において 20 歯以上を維持する要因は、唾液緩衝能が高いこと、歯周組織が安定し動揺歯がないこと、規則正しい生活習慣を保つこと、習慣的にフッ化物を使用することが示された。したがって、20 歳代や 30 歳代から唾液検査や歯周基本検査を実施し、歯が喪失する可能性を持つハイリスク者を早期に抽出する必要がある。そして、各個人における危険因子を患者本人が自覚し、日常生活でも気をつけることが重要である。医療者側は、緩衝能が低い人には定期検診の短期化を勧め歯科疾患を予防する。また生活習慣の改善を指導するとともに適したフッ化物の使用などの口腔保健指導が必要であると示唆された。</p>		

(様式第 13 号)

学位論文審査結果の要旨	
<p>学位申請論文は、高齢者における 20 歯以上を維持する要因を口腔内の状態、口腔保健行動、Breslow の生活習慣から検索したものである。横断的研究であるが、客観的な基準で調査され、調査項目をロジスティック回帰分析により多変量解析がなされ、得られた結論は適切であり、今後の高齢者の喪失歯の予防に貢献できる論文といえる。それは、要介護、フレイル、プレフレイルを予防するための知見である。</p> <p>以上のことから、本論文が博士（歯学）の学位論文に値すると評価した。</p>	
最終試験結果の要旨	
<p>申請者の学位申請論文「20 歯以上保有している高齢者の要因」に関する基礎知識、論文の内容に関わる事柄、研究成果などについて、口頭試問を行い明確な回答が得られた。</p> <p>質問事項は以下の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 唾液緩衝能の喪失歯への影響。2. ロジスティック回帰分析について3. 数量化 I 類について4. 多重共線性について5. 義歯の影響について6. 健康指数と高齢者の歯の喪失との関連性について	
判 定 結 果	○合格 ・ 不合格

備考

- 1 学位論文名が外国語で表示されている場合には、日本語訳を（ ）を付して記入すること。
- 2 学位論文名が日本語で表示されている場合には、英語訳を（ ）を付して記入すること。
- 3 論文審査委員名の前に、所属機関・職名を記入すること。